

専門職が支える地域包括ケア研修会（第二部）  
**多職種対象地域包括ケア講演会**

平成 29 年 3 月 16 日(木)18:15～20:00  
岩手県立釜石病院 2 階 大会議室

次 第

- 1 開会挨拶
- 2 主催者挨拶
- 3 講演 座長：寺田 尚弘 氏  
(釜石医師会介護在宅診療部会長・在宅医療連携拠点チームかま  
いしアドバイザー)
- ◆ 住み慣れた地域でその人らしく最後まで暮らし続けるために【Aging in place】  
～地域包括ケアを推進するために私たちがすべきこと～  
講師：宇都宮 宏子 氏  
(在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表)
- 4 質疑応答
- 5 閉会挨拶

裏面に講師のプロフィールを掲載しています。

主催 岩手県立釜石病院、釜石市（在宅医療連携拠点チームかまいし）

### ◆宇都宮 宏子（うつのみや ひろこ）氏

#### 【略歴】

1959年福井出身

1980年 京都大学医療技術短期大学部 看護学科卒業

医療機関で看護師として勤務、高松の病院で訪問看護経験し在宅ケアの世界に入る

1992年、京都の訪問看護ステーションで勤務、介護保険制度創設時、ケアマネジャー・在宅サービスの管理・指導の立場で働きながら、病院から在宅に向けた専門的な介入の必要性を感じ

2002年、京大病院で「退院調整看護師」として活動

2012年4月より、『在宅ケア移行支援研究所』起業独立

医療機関の在宅移行支援、地域の医療介護連携推進、在宅医療推進事業研修・コンサルテーションを中心に活動

#### 【その他の活動】

- 京都大学医学部人間健康科学学科非常勤講師 ●聖路加国際医療大学臨床教授
- 京都府看護協会担当委員（認知症サポートナース・退院支援・看取り支援人材養成研修等）
- 東京都在宅療養推進会議 退院支援強化事業・在宅療養支援員養成研修委員等
- 奈良県立医科大学在宅看護人材育成員・在宅看護特別教育プログラム研究会委員
- セコム医療システム(株)退院支援・在宅事業担当
- 京都 ACP 看護研究会 ●京都式認知症ケアを考えるつどい実行委員
- 聖路加国際大学教育センター「退院調整看護師養成プログラムと活動支援」事業メンバー

#### 【主な書籍】編著・共著

- 「チームで行う退院支援」中央法規 共著 2008年8月
- 「退院支援実践ナビ」医学書院 2011年3月
- 「これからの退院支援・退院調整」日看協出版会 2011年4月
- 「退院支援・退院調整ステップアップQ&A」日看協出版会 2012年5月
- 「看護がつながる在宅療養支援」日看協出版会 2014年6月
- 退院支援ガイドブック～「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえて関わる  
2015.8月 学研メディカル秀潤社